

- 工事申告は書類NO.3100 V2H充放電設備等設置工事申告の「作成」ボタンより申告できます。
- 「作成」ボタンを押すためには以下の2つの書類が「登録済」となっている必要があります。

書類NO.1700 会社別見積書一覧、書類NO.3000 V2H充放電設備情報

【V2H】交付申請一覧

管理NOV70906申請者名申請者名設置場所区分公共施設・災害拠点

申請者区分法人（マンション管理組合法人を含む）設置場所名称〇〇

V2H補助金申請額150,000

V2H設置工事補助金申請額0

V2H設置に係る補助金申請額（合計）150,000

※なお、資本関係のある会社から調達を受ける場合、補助金申請額より利益相当額を排除します。

申請確認

連絡事項

書類一覧

上から順に入力、確定してください。

検索結果： 21 件

書類NO	書類名称	補足説明	状態	編集	帳票	受付結果
0100	申請者情報		登録済	作成	確認	
0200	申請者：役員名簿		登録済	作成	確認	
1500	設置場所情報		登録済	作成	確認	
1600	土地・建物の権利情報		登録済	作成	確認	
6600	予定日	工事開始から完了までの予定を立てて入力	登録済	作成	確認	
0300	委任状情報	書類NO.0100／NO.1500を「確定」後に入力可能	登録済	作成	確認	
0500	共同申請者情報	共同申請の場合	登録済	作成	確認	
0600	共同申請者：役員名簿	共同申請者が、法人・リースの場合	登録済	作成	確認	
1200	手続代行情報	書類NO.0100を「確定」後に入力可能 工事施工会社を手続代行者として、業務等の手続きの一部を依頼する場合に必要な情報の入力 依頼しない場合でも、無で「確定」が必要	登録済	作成	確認	
1400	V2H設備設置/ターン	V2H充放電設備から放電対象となる施設（建物）の状況を入力	登録済	作成	確認	
1700	会社別見積書一覧	設置に係るすべての見積書を準備して入力	登録済	作成	確認	
3000	V2H充放電設備情報	書類NO.3100を「確定」後に、再度「確定」ボタンを押すと、書類NO.3100を再度確認し、「確定」をする必要がある	登録済	作成	確認	
3100	V2H充放電設備等設置工事申告	工事費用と工事内容の申告 書類NO.1700／NO.3000の「確定」後に入力可能		作成	確認	

★登録中:工事内容について登録中のもの
★登録済:工事内容を確定したもの
★空欄:申告なし

■各工事情報を入力後、下部の「確定」を押下します。

登録中の工事情報が存在するため、工事申告の情報を確定できません。

【V2H】V2H充放電設備等設置工事申告（公共施設／災害拠点）

管理NO
設置場所名称

(1)V2H充放電設備設置工事費					
①V2H充放電設備設置工事費	記号	申告額(A1～A2) 税抜	工事申告の必須項目	工事内容の申告	状態
ア. 基礎・据付工事費	A1	0	<必須>	作成	
イ. 搬入・運搬費	A2	0	任意	作成	登録中

(1)V2H充放電設備設置工事費					
②電気配線工事費	記号	申告額(A3) 税抜	工事申告の必須項目	工事内容の申告	状態
電気配線工事費			<必須>	作成	登録済
配管工事費			任意	作成	

戻る 一時保存 確定

【確定失敗】
画面上部に赤字で未入力項目などの情報が表示されますので、修正後、再度「確定」を押下してください。

※「確定」を押下する前に確認※

■以下に該当している場合は「確定」を押してもエラーとなります。

- A 申告必須項目が未申告(空欄)
- B 状態項目に登録中がある

■工事申告が無い場合は状態が空欄となります。

「確定」を押下後、下記表示が出る場合は、申告額の入力がされていない状態です。
申告する場合は「キャンセル」を押下し、再度、入力内容を確認してください。

fa3dev.charge.cev-pc.or.jp の内容

工事申告額の合計が0円です。
このまま申請されますと『工事補助金額は0円』となります。

OK キャンセル

■「確定」されると、交付申請一覧の右上に「確定しました。」と表示され、状態が「登録済」になります。

確定しました。

【V2H】交付申請一覧

管理NO	V70906	申請者名	申請者名	設置場所区分	公共施設・災害拠点
申請者区分	法人（マンション管理組合法人を含む）	設置場所名称	〇〇		
V2H補助金申請額	150,000				
V2H設置工事補助金申請額	120,000				
V2H設置に係る補助金申請額（合計）	270,000				
※なお、資本関係のある会社から調達を受ける場合、補助金申請額より利益相当額を排除します。					

申請額確認

連絡事項

書類一覧

上から順に入力、確定してください。

検索結果： 21 件

書類NO	書類名称	補足説明	状態	編集	帳票	受付結果
0100	申請者情報		登録済	作成	確認	
0200	申請者：役員名簿		登録済	作成	確認	
1500	設置場所情報		登録済	作成	確認	
1600	土地・建物の権利情報		登録済	作成	確認	
6600	予定日	工事開始から完了までの予定を立てて入力	登録済	作成	確認	
0300	委任状情報	書類NO.0100/NO.1500を「確定」後に入力可能	登録済	作成	確認	
0500	共同申請者情報	共同申請の場合	登録済	作成	確認	
0600	共同申請者：役員名簿	共同申請者が、法人・リースの場合	登録済	作成	確認	
1200	手続代行情報	書類NO.0100を「確定」後に入力可能 工事施工会社を手続代行者として、業務等の手続きの一部を依頼する場合には必要な情報の入力 依頼しない場合でも、無で「確定」が必要	登録済	作成	確認	
1400	V2H設備設置パターン	V2H充放電設備から放電対象となる施設（建物）の状況を入力	登録済	作成	確認	
1700	会社別見積書一覧	設置に係るすべての見積書を準備して入力	登録済	作成	確認	
3000	V2H充放電設備情報	書類NO.3100を「確定」後に、再度「確定」ボタンを押すと、書類NO.3100を再度確認し、「確定」をする必要がある。	登録済	作成	確認	
3100	V2H充放電設備等設置工事申告	工事費用と工事内容の申告 書類NO.1700/NO.3000の「確定」後に入力可能	登録済	作成	確認	

戻る

申請

■設置工事の補助金申請には工事費(補助対象経費)の申告と「工事内容の申告」の情報を入力する必要があります。

(1)V2H充放電設備設置工事費					
		a	b	c	d
①V2H充放電設備設置工事費	記号	申告額(A1~A2) 税抜	工事申告の必須項目	工事内容の申告	状態
ア. 基礎・据付工事費	A1	0	<必須>	<button>作成</button>	
イ. 搬入・運搬費	A2	0	任意	<button>作成</button>	
(4)その他、設置工事にかかる費用					
	記号	申告額(A13) 税抜	工事申告の必須項目	工事内容の申告	状態
①雑材・消耗品費、養生費	A13	0	任意	—	—

a

申告額

補助対象経費となる工事費(税抜き)を申告額に入力します。
※補助対象経費については申請の手引きを確認してください。

b

工事申告の必須項目

<必須>の場合は右にある「作成」より工事内容の申告が必要です。

c

工事内容の申告

「作成」を押すと各工事画面に移動します。
必要に応じて「作成」より工事内容を登録してください。
工事を行わない(ない)などは申告(作成)不要です。

d

状態

状態には空欄または「登録済」、「登録中」、「—」が表示されます。
【 空欄 】工事内容の申告を作成していない状態
【 登録済 】工事内容の申告が登録された状態(各工事画面で「確定」を押して成功した場合)
【 登録中 】工事内容の申告が編集中の状態(各工事画面で一時保存を行った場合)
【 — 】工事内容の申告がない工事項目(「作成」ボタンなし)

◆申告額の入力について
※補助対象経費については応募要領を確認してください。

申告額については各項目ごとの工事費(補助対象経費)の合計を税抜きで入力してください。

(1)V2H充放電設備設置工事費					
①V2H充放電設備設置工事費	記号	申告額(A1~A2) 税抜	工事申告の必須項目	工事内容の申告	状態
ア. 基礎・据付工事費	A1	200,000	<必須>	作成	登録中
イ. 搬入・運搬費	A2	50,000	任意	作成	登録済

申告額(A3)については下図のように③電気配線工事費の各工事項目の工事費(補助対象経費)の合計を入力してください。

(1)V2H充放電設備設置工事費					
②電気配線工事費	記号	申告額(A3) 税抜	工事申告の必須項目	工事内容の申告	状態
電気配線工事費			<必須>	作成	登録済
配管工事費			任意	作成	登録済
ブレーカー・切替開閉器設置工事費			任意	作成	登録済
開閉器盤設置工事費			任意	作成	登録済
掘削・埋設工事費			任意	作成	登録済
建柱工事費			任意	作成	登録済
ハンドホール設置工事費			任意	作成	登録済
工事費合計	A3	30,000			